

教科名	小学校 国語科	学 年	第6学年
単元名	作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう やまなし イーハトーヴの夢	児童数	33名
		授業者	柴田 彩
1 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。〔知識及び技能〕(1)ク</li> <li>・ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)工</li> <li>・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)才</li> <li>・ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」</li> </ul>			
2 単元の観点別評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・ 比喩や反復などの工夫に気付いている。(1)ク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)工)</li> <li>・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)才)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表現や構成等に着目して作品全体を捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</li> </ul>	
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもの育成に向けた手立て			
(1) 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを表現するために、絵や図にまとめる活動時にノートやタブレット端末など、自分が表現しやすい教材を選択できるようにする。</li> <li>・ 子どもからの問いを生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>			
(2) 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対話する必要性のある課題の提示や、対話の視点を明確にする。</li> <li>・ 全員の意見をスプレッドシートで確認できるようにし、対話したい人を選択しながら、自分の考えを強化、追加、変化させていく。</li> </ul>			
(3) 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思考ツールを活用し、対話における思考の過程を可視化する。</li> <li>・ 自分の考えを整理する時間を設定する。</li> </ul>			
(4) 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末を使い、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到に合わせた振り返りを適時行う。</li> <li>・ 数名の子どもの振り返りを掲示し、振り返る視点を共有する。</li> </ul>			
4 単元で提示する振り返りの視点			
① 分かったことやできるようになったこと（学びの自覚）			
② 今後の学習で取り組みたいこと（学びの見直し）			
④ 本時の学び（1単位時間）			
⑤ 単元の学び（単元全体）			
⑩ 自分の考えがどのように変わったか（認知の過程）			
⑬ 友達の書いた振り返りを読んで気付いたことや考えたことを生かす（他者の振り返りを自分の学びに生かす）			

5 単元の指導と評価の計画（全8時間）			
時間	学習課題（◆） 主な学習活動（○）（対話の視点）	振り返りの視点	評価の観点【】 評価規準
1	<p>◆単元のめあてを設定し、学習計画を立てよう。</p> <p>○ 単元扉を見て、作品について想像できることを話し合う。</p> <p>○ 「やまなし」を読み、単元のめあてを設定し、学習計画を立てる。</p> <p style="text-align: right;">（多面的・多角的に見る）</p>	② ④	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元扉や文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（発言、ノート）</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元のめあてや学習計画を理解し、見通しをもって教材を読もうとしている。（発言、ノート）</li> </ul>
2	<p>◆「五月」「十二月」で描かれている風景を、簡単な絵や図で表そう。</p> <p>○ 表した絵や図と文中の言葉とを照応したり、子ども同士で見比べたりする。</p> <p>○ 様子や出来事を視覚的に捉える。</p> <p style="text-align: right;">（比較する）</p>	④ ⑩	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面を簡単な絵や図にまとめ、物語世界を具体的に想像している。（発言、ノート、タブレット端末）</li> </ul>
3	<p>◆宮沢賢治の人物像を捉え、作品の特徴を探ろう。</p> <p>○ 「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の人物像について話し合う。</p> <p>○ 作品に表れた特徴を話し合う。</p> <p style="text-align: right;">（抽象化する）</p>	① ④	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮沢賢治の生き方や考え方、作品の特徴を捉えている。（発言、ノート）</li> </ul>
4 ・ 5	<p>◆「五月」「十二月」を比べ、なぜ「やまなし」が題名なのか考えよう。</p> <p>○ 「やまなし」の気になる言葉や表現に線を引き、その情景を想像する。</p> <p>○ 「五月」「十二月」の場面を比べ、感じたことや考えたことをまとめる。</p> <p>○ 「題名」について考える。</p> <p style="text-align: right;">（多面的・多角的に見る）</p>	① ⑩	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>語のリズムや表現のもつ美しさ、比喩などの表現上の特色に気付いている。（発言、ノート）</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題名に着目しながら2つの場面を比べて読み、表現の効果を考えている。（発言、ノート）</li> </ul>
6	<p>◆宮沢賢治は「やまなし」にどのような思いを込めたのか考え、文章にまとめよう。</p> <p>○ 「やまなし」「イーハトーヴの夢」の叙述を基に、作者の思いについて考え、文章にまとめる。</p>	④	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで理解したことに基づいて、作者の思いについて自分の考えをまとめている。（ノート）</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の世界を捉えることに粘り強く取り組み、自分の考えを書こうとしている。（タブレット端末）</li> </ul>
7	<p>◆書いた文章を友達と読み合い、作者の思いについて語り合おう。</p> <p>○ 書いた文書を読み合い、感想を交流する。</p> <p>○ 自分の考えをもう一度整理する。</p> <p style="text-align: right;">（多面的・多角的に見る）</p>	④ ⑩	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の書いた文章を読んで考えを広げ、学んだことを基に自分の考えをまとめている。（タブレット端末）</li> </ul>
8	<p>◆単元のめあての振り返りをしよう。</p> <p>○ 単元の学習のまとめを書く。</p> <p>○ まとめに書いた内容を、交流する。</p> <p style="text-align: right;">（評価する）</p>	② ⑤ ⑬	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物像や物語の全体像、表現の効果について考え、まとめている。（ノート）</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元全体を振り返るとともに、これからも作品の世界を想像して読み深めようとしている。（発言、ノート）</li> </ul>